

## 土合地区「こども110番スタンプラリー」

11月12日、土合地内で「こども110番スタンプラリー」が開催されました。やたべ土合小と植松小の4・5年生、29人が参加し、ビンゴゲーム形式でカードの番号をそろえながら、こども110番の家を確認してまわりました。

このイベントは、矢田部・土合地域コミュニティ協議会の菅原会長を中心に、2校のPTAと土合区長会が準備、開催したものです。

3年ぶりの開催となりましたが、子どもたちはグループに分かれて楽しそうにこども110番の家をまわり、スタンプを集めていました。



## 「笑輪祭」

12月4日、神栖市教育センター(旧矢田部小)で「笑輪祭」が開催されました。

このイベントは、矢田部・土合地域コミュニティ協議会の笑輪祭実行委員会が主催し、地域の活性化や、コロナ禍で部活動や発表会が中止となってしまった地域の子どもの発表の場をつくらうと企画されたものです。

地域住民の方々が大勢訪れ、吹奏楽やダンス、書道パフォーマンスなどの発表を楽しんでいました。



## 「波崎東ふれあい発表会」開催します

波崎東地域コミュニティ協議会文化部会によるイベントを行います。

落語会や利用団体によるミニコンサート、子ども向けのお楽しみ会などを企画していますので、地域の皆さんの参加をお待ちしています。

日時=1月29日(日) 午後0時30分～

場所=波崎東ふれあいセンター

☎0479-44-1012



## 部活動の地域移行 ～神栖市の取り組み～

教育指導課 ☎0299-77-7431

2020年9月、文部科学省から示された「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」に基づき、全国の市町村では、休日の部活動の地域移行に向けた準備・検討が進められています。

神栖市でも2021年度、「神栖市部活動改革検討委員会」を設置しました。

各競技部では、神栖地区・波崎地区に分けた運動部活動の合同練習会を月1回程度で計画・実施しています。2023年度には、この合同練習会を基にした地域移行のモデルケースを設けて検証を行ない、2024年度を目安に、休日の学校部活動を地域に移行していくことを検討しています。

休日の生徒の活動機会を確保するためには、地域でスポーツ・文化活動が実施できる環境の整備が必要です。そのため、市内の受け皿となりうる団体や指導者を発掘することが最優先課題となっています。また、事務局の運営や施設の確保、活動中のケガの対応などについても、検討委員会で方針を決定していきます。

生徒一人ひとりが、地域の人材に支えられながら充実した活動ができるよう、取り組みを進めていきます。

### 学校部活動と地域クラブ活動の違い

※地域クラブ活動とは、学校の部活動と異なり、地域で行なうスポーツ・文化活動のことです

区分	学校部活動	地域クラブ活動
運営主体	学校	民間のスポーツクラブ、市民団体など
対象	自校の生徒	地域の児童・生徒
主な指導者	教員、部活動指導員	地域のスポーツ指導者、保護者、退職教員、兼職兼業の許可を得た教師(指導を希望する教師)
活動日	平日、休日	休日(平日も可)
活動場所	学校	学校、地域の施設、クラブの施設など
活動時間	運営方針…平日2時間程度、休日3時間程度	運営方針に準拠して活動することが適切
運営費	部活動運営費、保護者会費など	受益者負担、地方自治体で減免
保険	日本スポーツ振興センター(学校で加入済み)	運営主体で保険に加入
責任	学校	運営主体
参加可能な大会	中体連主催大会 学校単位で実施される大会	主催者が学校単位以外も参加を可とした大会
指導者の報酬など	休日部活動は特殊業務手当	運営主体が報酬額を決定
指導者の資格	教員、部活動指導員(指導員資格規定に準ずる)	運営主体が決定
課題	生徒の多様なニーズに対応、少子化のため運営体制の維持が困難、長時間勤務、指導経験がない教員にとって負担大	運営団体・人材の確保、平日と休日の協力体制、費用負担、大会参加、場所・用具の使用、管理・指導する行政の所在の明確化